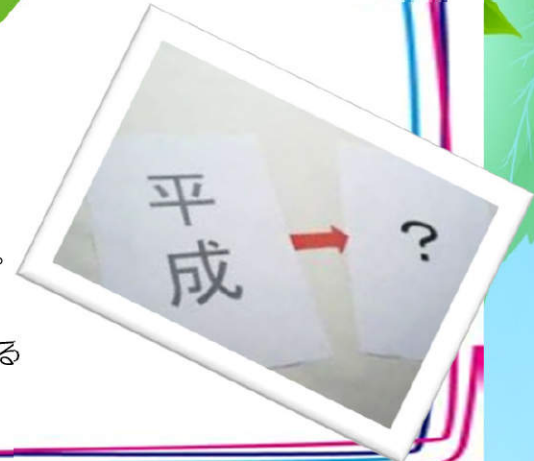




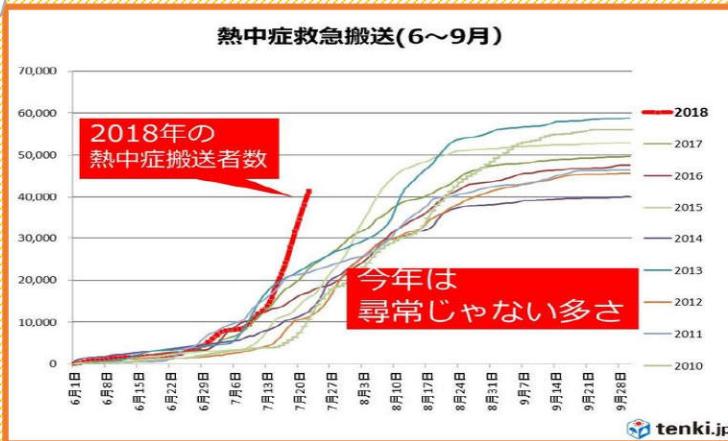
『平成を振り返って・・・』

2018年を終えてこの30年をふりかえってみると、平成がはじまった当時、国内では生活排水、ごみ問題など都市生活型の公害が深刻化し始めていましたが、国際的にも酸性雨やオゾン層破壊など地球環境問題が注目されました。1992年開催の地球サミット、1998年に地球温暖化対策推進法、2001年には環境省の設置と、まさに平成の30年間で、国内外の環境施策は大きく変わってきたといえます。今回は平成最後の年である2019年、身近に感じた環境ニュースを振り返りたいと思います。



1

“災害級の暑さ” にあえいだ2018年の夏



2018年の新語・流行語大賞のトップテンに選ばれた「災害級の暑さ」。各地で40℃超えが観測され、熱中症対策への意識も上がりました。夏の暑さに対して「不急不要の外出」を避ける、「災害という認識」を持つなど、夏の生活の概念が変わりました。7月に列島を襲来した「平成30年7月豪雨」も、“災”の年を象徴するものでした。台風7号と長期停滞した梅雨前線の影響で、水害を主として死者200名以上の大災害となりました。

2

脱プラスチック社会へ一歩前進

2018年に大きな転機を迎えた脱プラスチックへの潮流。6月に採択された「海洋プラスチック憲章」は、これまで大きく取り上げられなかった海洋プラスチック問題に注目を集めるきっかけになりました。国際機関や行政の取り組み以上に民間による脱プラスチック化への動きが注目されました。7月にスターバックスがプラスチック製使い捨てストローの使用を2020年までに全店舗で廃止すると発表。以来、外食産業によるプラスチックストローの使用見直し、食品メーカー等によるプラスチック容器包装の代替素材導入など、脱プラスチック化が一気に加速した2018年でした。

海洋プラスチック問題の現状 (概要)

1. 海洋での漂着ごみの事例

2. 漂着物の例

3. 想定される被害

- ・生態系を含めた海洋環境への影響
- ・船舶航行への障害
- ・観光・漁業への影響
- ・沿岸域居住環境への影響

⇒近年、海洋中のマイクロプラスチック(※)が生態系に及ぼす影響が懸念されている。
※サイズが5mm以下の微細なプラスチックごみ



環境省では、海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・企業等が連携協働して取組を進めることを後押しするため「プラスチック・スマート」というキャンペーンを立ち上げました。不必要なワンウェイのプラスチックの排出抑制、分別回収の徹底など“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進し、国内外に発信していくことです。企業の取り組みをキャンペーンサイトに応募したり個人のアイデアをSNSで発信したりもできますので、興味のある方は環境省公式サイトを検索してください！

3

元号が変わるとコンピュータシステムは？



昭和から平成に変わったときに、企業の基幹システム等はオフコンが主流でした。日付データは6桁(yymmdd)で管理し、不幸にも和暦でデータ管理を扱っているとシステム変更膨大な量力を費やしました。現在、企業や自宅での使用の主流はパソコンです。そのシステム（データベース）の日付データは、西暦で管理されている事が通常のため西暦で表示されている印刷物等は、問題がないと思われます。和暦表示をしている場合には、関数（西暦を和暦変換）を使用していることが多いため、その場合は、プログラム言語、OSに依存されています。その為新元号発表後（4月1日予定）、早めの更新プログラムのリリースをお願いしたいところです。また、同様にOFFICE系ソフト・年賀状ソフト等も4/1以降にUPDATEプログラムで更新されることが予想されます。

ちょっとドライブへ

—エル・マールまいづる—



舞鶴親海公園に停泊している「エル・マール まいづる」を訪れました。目玉は日本初の海上プラネタリウムで、本格的なプラネタリウムを船の上で体験できます。3Fから1Fには展望デッキ、豪華客船（タイタニック号のような）をイメージした体験館、地元舞鶴の歴史の展示物があり、地下階にはエネルギー体験館があります。小学生の子にも理解し易くエネルギーのできる仕組みを体感できます。環境問題に触れながら、エネルギーを作る仕組み、環境にやさしい社会との共存とは…などが学習できるようなところでした。入館無料でプラネタリウムのみ有料です。（大人200円こども100円）



Re-board リボード

オーダーメイドで作成可能☆



今回はリボードを使用した作品をご紹介します。写真は社内用の下駄箱なのですが、紙素材でありながら『頑丈なのに軽く』『高い印刷適正』をもつ素材です。『古紙リサイクルとして処分可能』で、『解体してコンパクトに収納し再組立』することもできます。デザイン、サイズなどオーダーメイドで作成も可能です。



KP TIMESはびわ湖の森の木になる紙を使用しています

